



令和 5 年 6 月 28 日

メンタルヘルスの課題解決は社会の責任
「メンタルヘルスと社会：多層的で持続可能な支援に向けて」
第 51 回日本女性心身医学会学術集会を岡山で開催

◆発表のポイント

- ・ 2023 年 7 月 29～30 日、「メンタルヘルスと社会：多層的で持続可能な支援に向けて」をテーマとし、第 51 回日本女性心身医学会学術集会を国際交流センターで開催します。
- ・ メンタルヘルスの課題は「医療」だけでは解決しません。社会全体が関心を持ち、問題点に気づき予防するための知識を持ち、社会実装可能なシステムを構築する必要があります。
- ・ 産婦人科、精神科、心療内科等の医師・看護師、助産師、保健師、心理士、薬剤師など、心身医学に関わる実践者の方々、行政や政治家などシステムづくりの専門家の方々、さらには、それらに関する研究者や教育者の方々、その多岐にわたる関心に応えるべく、講演、シンポジウム、ワークショップなどを予定しています。

COVID-19 拡大は、日本の従来の医療に対して種々の課題を投げかけています。心身医療に対してもメンタルヘルスの課題、そのケアの重要性を突き付ける形となりました。特に女性では自殺率の上昇が見られており、近年、注目されてきた妊産婦のメンタルヘルスの課題への対応もさらに複雑なものになっています。

2022 年 4 月には、不妊治療への保険適用が開始され、同時にメンタルケアへの視点が強調されています。厚生労働省は流死産女性への精神支援を行うサポーターの養成を開始、不育症カップルへのメンタルケアも注目されています。また、がん患者のメンタルヘルスの課題としても、妊孕性温存を希望する若年の女性がん患者へのメンタルケアについては十分な対応がなされていません。

LGBTQ（性的マイノリティ）当事者は人口の 5～10%とされています。性同一性障害/性別不合の診療に従事する医師や看護師、心理士の方々はもちろんのこと、広く、本学会の会員の診療や支援活動の場面でも、（ご本人が明らかにしているかどうかは別にして）LGBTQ 当事者はその対象となっています。日本女性心身医学会では、近年、性の多様性を考慮し、LGBTQ 当事者へのメンタルケアの課題について取り上げています。

今回の学術集会では「メンタルヘルスと社会：多層的で持続可能な支援に向けて」をテーマとしています。医療のみではなく、種々の社会的課題についても取り上げます。産婦人科、精神科、心療内科等の医師・看護師、助産師、保健師、心理士、薬剤師など、心身医学に関わる実践者の方々、行政や政治家などシステムづくりの専門家の方々、さらには、それらに関する研究者や教育者の方々、その多岐にわたる関心に応えるべく、講演、シンポジウム、ワークショップなどを予定しています。

個々の対象への診療や支援はもちろんのこと、メンタルヘルスに関連する医療体制、支援ネットワークについて、特に、本学会員の特色である多様な職能が連携して構築すべき「多層的で持続可能な支援」について議論する予定です。多くの方々のご参加をお待ちしています。



PRESS RELEASE

<開催概要>

1. 名 称 第 51 回日本女性心身医学会学術集会/第 36 回日本女性心身医学会研修会
テーマ「メンタルヘルスと社会：多層的で持続可能な支援に向けて」
2. 日 時 2023 年 7 月 29 日（土）・30（日）
3. 場 所 岡山国際交流センター

4. プログラム 詳細は大会 HP <https://med-gakkai.jp/jspog51/> をご確認ください。
 - ・ 会長講演「社会的ハイリスク妊産婦とメンタルヘルス：産科・地域保健・精神科の連携システムで支える」
 - ・ 特別講演「ベビー・トリプル P：親と子の Wellbeing をめざして『Triple P for Baby: Current Evidence and Future Directions』」
 - ・ シンポジウム 1 「周産期メンタルヘルスケア ～親子を守り育む多機関・多職種支援を実装するために～」
 - ・ シンポジウム 2 「乳がん女性のメンタルヘルスと多職種支援」
 - ・ シンポジウム 3 「トランスジェンダーのメンタルヘルス問題への理解と支援」
 - ・ シンポジウム 4 「不妊・不育カップルのメンタルヘルスと支援」
 - ・ シンポジウム 5 「女性のライフステージとメンタルヘルス」
 - ・ 日韓合同企画「Psychological stress and cervical intraepithelial neoplasia」
 - ・ ランチョンセミナー1「女性特有のうつにどう対応するか～性ホルモンと亜鉛との関連を含めて～」
 - ・ ランチョンセミナー2 「オレキシンの役割を再考する～発達障害の睡眠障害を中心に～」
 - ・ ランチョンセミナー3 「PMDs 女性の心身を支える包括的アプローチ」
 - ・ イブニングセミナー 「便秘の支点、力点、作用点を探る」

5. 対 象 者 どなたでもご参加いただけます。
6. 申 込 方 法 第 51 回日本女性心身医学会学術集会ホームページよりお申し込みください。
<https://med-gakkai.jp/jspog51/>
7. 参 加 費 用 ①事前参加登録期間（2023 年 5 月 29 日（月）～2023 年 7 月 7 日（金）正午）
会員：8,000 円、非会員：10,000 円
初期研修医、学生：参加費無料
②通常登録機関（2023 年 7 月 19 日（水）～2023 年 7 月 27 日（木））
会員：9,000 円、非会員：11,000 円
初期研修医、学生：参加費無料

★学生（医学部、看護学部、保健学部、心理学部等医療に関連する学部生、および助産学コースの大学院生）は無料、ただし、社会人大学院生は有料です。



PRESS RELEASE

<補足>

詳しい情報は、第51回日本女性心身医学会学術集会ホームページをご参照ください。

URL: <https://med-gakkai.jp/jspog51/>

◆研究者からのひとこと

妊娠中から社会的ハイリスク妊産婦への支援を開始することで、産後うつや虐待を予防する「岡山モデル」の開発・実践に携わる。

全国でも数少ない「不育症（流死産により子どもを持つことができない状態）」の専門医として、治療とともに精神支援も行っている。

岡山大学ジェンダークリニック開設時のメンバーとして、トランスジェンダー当事者の診療を行うとともに、GID（性同一性障害）学会理事長として、性同一性障害当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、性同一性障害のホルモン療法の保険適用、性同一性障害当事者の家族形成などの課題解決に向かって活動中。

岡山大学病院リプロダクションセンター・センター長、がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA の代表として、がん患者の妊孕性温存治療と精神支援にも関わっている。

第51回日本女性心身医学会学術集会では、これら幅広い内容を、「メンタルヘルスと社会：多層的で持続可能な支援に向けて」という共通テーマで、学び、議論する。



岡山大学学術研究院保健学域
教授 中塚幹也

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

教授 中塚幹也

（電話番号）086-235-6538（FAX兼）

（メール）josan@okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

第51回

Japanese Society of
Psychosomatic Obstetrics and Gynecology

日本女性心身医学会学術集会

第36回日本女性心身医学会研修会

会期 2023年7月29日(土)・30日(日)

会場 岡山国際交流センター

会長 中塚 幹也 岡山大学学術研究院保健学域 教授／岡山大学病院リプロダクションセンター
岡山大学ジェンダークリニック

メンタルヘルスと社会 多層的で持続可能な支援に向けて

特別講演

「ベビー・トリプルP：親と子のWellbeingをめざして」

アリーナ・モロースカ 教授 (クイーンズランド大学 心理学部)

Baby Triple P: Supporting Parental and Infant Wellbeing.

Prof. Alina Morawska Deputy Director (Research), Parenting and Family Support Centre, School of Psychology,
University of Queensland, Brisbane, Australia

【教育講演】【シンポジウム】【ワークショップ】 LGBTQとメンタルヘルス、流産のケア、周産期うつなどの各種テーマで準備中

演題募集期間

2023年
3月1日(水)～4月5日(水)

ご登録はこちら

<https://med-gakkai.jp/jspog51/>



- 学会事務局 岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室
〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL: 086-235-6538 E-mail: josan@okayama-u.ac.jp
<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>
- 運営事務局 株式会社メッド 〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3
TEL: 086-463-5344 FAX: 086-463-5345
E-mail: jspog51@med-gakkai.org

 一般社団法人日本女性心身医学会
Japanese Society of
Psychosomatic
Obstetrics
and Gynecology

第 51 回日本女性心身医学会学術集会 第 36 回日本女性心身医学会研修会

「メンタルヘルスと社会 多層的で持続可能な支援に向けて」

会期：2023 年 7 月 29 日（土）・30 日（日） 会場：岡山国際交流センター

日本専門医機構、日本助産評価機構アドバンス助産師選択研修 等の単位取得可能
学生・研修医は参加費無料（事前登録は必要です。）

日程の詳細はホームページでご確認ください。URL: <https://med-gakkai.jp/jspog51/>

会長講演

座長：相良 洋子（さがらレディスクリニック）

「社会的ハイリスク妊産婦とメンタルヘルス：産科・地域保健・精神科の連携システムで支える」

演者：中塚 幹也（岡山大学学術研究院保健学域）

特別講演

座長：中塚 幹也（岡山大学学術研究院保健学域）

「Triple P for Baby: Current Evidence and Future Directions」

演者：Alina Morawska（Parenting and Family Support Centre, School of Psychology, The University of Queensland）

シンポジウム 1 周産期メンタルヘルスケア ～親子を守り育む多機関・多職種支援を実装するために～

座長：来住 由樹（岡山県精神科医療センター）、國富 優香（岡山県保健医療部健康推進課）

指定発言：國富 優香（岡山県保健医療部健康推進課）

「産後の母親の自殺をシステムで止める」

演者：立花 良之（国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科）

「精神科と産科をつなぐツール：EPDS, その他の質問紙の考え方」演者：山根 謙一（九州大学病院子どものこころの診療部）

「NICU（新生児集中治療室）における家族支援 ～母親のこころのケアを通して～」

演者：松田 良子（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 新生児科）、

室井 晃子（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 看護部所属 新生児集中ケア）

「妊産婦の支援を担う精神科医療従事者が増えるためには」

演者：寺嶋 舞（岡山大学病院精神神経科）、八田 智美（岡山県精神科医療センター 地域連携室）

シンポジウム 2 乳がん女性のメンタルヘルスと多職種支援

座長：枝園 忠彦（岡山大学病院乳腺・内分泌外科・乳がん治療再建センター）、小泉 智恵（獨協医科大学）

「乳癌手術の歴史的変遷と患者への心理的配慮」 演者：荻谷 朗子（日本赤十字社医療センター 乳腺外科）

「遺伝性乳癌女性への多職種支援」 演者：寺田 かおり（秋田大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科）

「治癒困難な乳癌患者に対するアドバンス ケア プランニング」 演者：相良 安昭（社会医療法人博愛会 相良病院）

「がん患者の視点からみた女性の健康教育とキャリア支援 ～Diversity, equity, and inclusion～」

演者：桜井 なおみ（一般社団法人 CSR プロジェクト）

シンポジウム 3 トランスジェンダーのメンタルヘルス問題への理解と支援

座長：松本 洋輔（岡山大学病院ジェンダーセンター）、藤井 ひろみ（大手前大学）

「ジェンダークリニックにおける診療の実際 ～精神科医としての関わり～」

演者：松本 洋輔（岡山大学病院ジェンダーセンター）

「トランスジェンダーのカミングアウトについて」

演者：浅沼 智也（看護師/映画監督）

「COVID-19 によるトランスジェンダーのメンタルヘルスへの影響」

演者：江口 珠美（岡山大学大学院保健学研究科 博士後期課程）

「トランスジェンダーのメンタルヘルスを悪化させるもの ―その過去と現在―」

演者：三橋 順子（明治大学文学部非常勤講師）

シンポジウム 4 不妊・不育カップルのメンタルヘルスと支援

座長：羽原 俊宏（岡山二人クリニック）、松本 亜樹子（NPO 法人 Fine）

「不妊・不育にかかわるこころのケアの諸相」 演者：平山 史朗（東京リプロダクティブカウンセリングセンター）

「不妊・不育と心のケア～当事者の立場から～」 演者：松本 亜樹子（NPO 法人 Fine）

「不妊治療専門クリニックにおける流産・死産等を経験した女性に対する支援」

演者：門田 貴子（岡山二人クリニック）

「不育症女性とその家族のグリーフケアの実際」

演者：片岡 久美恵（岡山大学学術研究院保健学域／岡山県不妊専門相談センター）

シンポジウム 5 女性のライフステージとメンタルヘルス

座長：高木 学（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 精神神経病態学教室）、高尾 総司（同、疫学・衛生学分野）

「医療現場での女性の就労とメンタルヘルス」 演者：枝廣 暁（きのこエスポアール病院）

「思春期女性のメンタルヘルス」 演者：千田 真友子（岡山大学病院精神科神経科）

「更年期女性のメンタルヘルス」 演者：三木 知子（岡山大学病院精神科神経科）

「就労女性におけるメンタルヘルス」 演者：高尾 総司（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野）

ランチョンセミナー1 共催：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディopalホールディングス

座長：小川 真里子（東京歯科大学市川総合病院 産婦人科）

「女性特有のうつにどう対応するか～性ホルモンと亜鉛との関連を含めて～」

演者：大坪 天平（東京女子医科大学附属足立医療センター 診療・精神科）

ランチョンセミナー2 共催：MSD 株式会社

座長：高木 学（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 精神神経病態学教室）

「オレキシンの役割を再考する ～発達障害の睡眠障害を中心に～」

演者：牧之段 学（公立大学法人奈良県立医科大学 精神医学講座）

ランチョンセミナー3 共催：大塚製薬株式会社

座長：鎌田 泰彦（岡山大学病院周産母子センター／岡山大学医学部 産科・婦人科学教室）

「PMDs 女性の心身を支える包括的アプローチ」 演者：小川 真里子（東京歯科大学市川総合病院 産婦人科）

イブニングセミナー 共催：持田製薬株式会社

座長：上村 茂仁（ウイメンズクリニック・かみむら）

「便秘の支点、力点、作用点を探る」 演者：青山 大輝（広島市立北部医療センター安佐市民病院 消化器内科）

日韓合同企画

座長：高松 潔（東京歯科大学市川総合病院 産婦人科）

「Burden from Endometriosis in a Female's Life and a Role of Early Diagnosis」

演者：Seongmin Kim（Genecologic Oncology Center, Cha University, Ilsan Medical Center）

「Psychological Stress and Cervical Intraepithelial Neoplasia」

演者：Chulmin Lee（Gynecologic Oncology Center, Cha University Ilsan Medical Center, Goyang, South Korea）

お問合せ

運営事務局 株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3

TEL：086-463-5344 FAX：086-463-5345 E-mail：jspog51@med-gakkai.org